

惜し不仕當城を抗として平九郎と兵を死せんとする

大後室ハ小笠原右馬介
長祐の息女あり

相角館白指籠一旗門主殿守梅沢

右衛門小館大膳同市兵衛大野関越前戸沢房九郎
中館孫十郎譜代の家人田口平三郎同加賀守八柳
右馬介日米女黒川健殿助大沢主水日甚平西野雅
樂助日比立郎隠州寺平藏小白川善太郎菅將
監日藤左衛門小山田備中戸沢左京同長藏細田備前
同政之助佐々木新立郎鈴木丹波同喜太郎堀田長
五郎丸山善四郎入江元郎左門永山甚三郎日甚立
郎荷造酒元日八郎あり井原立郎八村越隼人

富松平左門傳設後守日遊九郎村杉小立郎児玉丹後
佐川源太迫友虎吉前田但馬日早太太森三郎右門
下田勘十郎堤市助喜成友兵衛堺田三左門玉山右
近佐久間主馬本森下勘々由伊友八郎左門安達孫三
遠藤修理日久八郎金田茂九郎石井孫助須賀内
近郷次郎兵衛日照七郎根沢内藏分兩部新兵衛
大賀大七郎沙門子瑞雲院教室小杉山香満寺紀
伊雲立坊を始又百余人あり然る処角館譜代の家人
河尾を攸宮部大藤矢沢下総守以下心を棄てて小
野寺小降参りあつて之を元臣門主殿助も隠謀れ疑ひ